血圧脈波検査装置VS-2000 1式(四肢+足趾脈波構成)仕様書

1. 構成

- (1) 血圧脈波検査装置本体 1台
- (2) 心音マイク 1個
- (3) 付属品セット 1式
- (4) スタンド 1台
- (5) 血圧脈波ユニット 2台

2. 機器仕様

血圧脈波検査装置本体及び付属品

- (1) 10.4インチXGAのカラー液晶表示器を搭載していること
- (2) 表示ユニット寸法がW297mm×D95.5mm×H210mm以内であること（突起部含まず）
- (3) 液晶表示器が専用スタンドに見やすい角度で搭載出来ること
- (4) 液晶画面上には被検者氏名、血圧脈波装置の状態などが表示されること
- (5) 入力方式は、液晶画面にタッチするだけでID番号、名前、身長、体重等の被検者情報を入力できるタッチパネル方式であること。
- (6) 静電容量式タッチパネルを搭載していること
- (7) 液晶画面上の設定で任意に加圧部位を選択できる機能を有すること
- (8) 検査中にすぐに本装置を止めるSTOPキーを押しやすい場所に配置し、安全性を確保していること
- (9) 検査結果の画面を切り替える際、フリック動作で切り替えられること。
- (10) 心音マイクを標準装備し、心音図が記録できること
- (11) 心電図なしでカフと心音マイクのみでCAVI検査が行えること
- (12) 非観血血圧計用カフが、上腕と足首でそれぞれ色分けされ識別可能なこと
- (13) 血圧に依存しにくい動脈硬化指標CAVI（心臓足首血管指数）の測定が出来ること
- (14) ABI(足関節上腕血圧比)をサポートするBPB（血圧バランス）を搭載し、上肢の動脈狭窄・閉塞の診断をサポート出来ること
- (15) JSH/ESHの指針にあった複数回測定、平均値算出が可能な上腕血圧計モードを搭載していること
- (16) ABI(足関節上腕血圧比)、UT、%MAPを搭載し、下肢の動脈狭窄・閉塞の診断をサポートすること
- (17) CAVI検査およびABI検査実施後、結果画面より被検者情報や区分線の修正機能や、CAVIおよびABIの再計算機能を有すること
- (18) 本体寸法が（幅）178mm×（奥行）181mm×（高さ）315mm以内であること（ケーブルカバーを含まず）
- (19) IDカードリーダー、2次元バーコードリーダーなどを接続するコネクタが標準装備されていること
- (20) パソコンを接続するLANコネクタが標準装備されていること
- (21) 主な保存メディアとしてSDカード（2GB）を採用し、任意に結果レポートのPDFファイルと検査結果

のXMLファイルがUSBメモリ、SDカードに保存可能な機能を有すること

(22) 任意のPC上に存在する共有フォルダに、検査結果レポートをPDFファイルとして出力する為の機能を有すること

(23) 外部にプリンタ（オプション）を接続し、血圧脈波検査結果を印刷する機能を有すること

(24) 波形一拍毎の各計測値が記録可能であること

(25) ABI（足関節上腕血圧比）をサポートするBPB（血圧バランス）を搭載し、上肢や下肢の動脈狭窄・閉塞を判り易くレポートに記録すること

(26) 搬送を考慮した取り外し可能な設計であること。また、表示部と本体を取り外し、卓上においても使用可能な設計を有すること

(27) 重量 約6.1kg（本体・表示ユニットを含み、スタンド、バッテリーパック、オプション類を除く）

(28) 無線LANを用いた通信が出来ること（オプション）

(29) 表示部と本体を取り外し、卓上においても使用可能な設計を有すること

(30) 任意にオプションユニットを追加することにより、検査の拡張性を有する機構を持つこと

(31) 血圧脈波ユニットには表示部を搭載していること

(32) 任意にバッテリーを搭載し、駆動すること（オプション）

スタンド

(33) スタンド寸法が（幅）509mm×（奥行）487mm×（高さ）976～1176mm以内であること

(34) 機器の転倒を防止する為、十分な重量を持っていること

(35) 表示部を任意の高さに調節できるための、最大可動距離200mmの高さ調整機能を有すること

血圧脈波検査データ管理ソフト（オプション）

(36) 血圧脈波検査装置で記録したデータをパソコンに収録、検索、表示、印刷、管理が行えること

(37) 血圧脈波検査装置のデータがLANによるオンラインの他にICカードによるオフラインの登録も可能であること

(38) パソコンに収録されたデータを他のアプリケーションソフトで利用可能なCSV形式で出力できること

(39) 生理検査システムEFS-8800と連携が出来ること